

国立公園等民間活用特定自然環境保全活動(グリーンワーカー)事業費 300百万円(277百万円)
--

自然環境局国立公園課

1. 事業の概要

国立公園等の貴重な自然環境を有する地域において、地域の自然や社会状況を熟知した地元住民等を雇用し、地域の実情に対応した迅速できめ細かな自然環境保全活動を推進し、国立公園等の管理のグレードアップを図る。

特に二酸化炭素吸収源対策、特定外来生物法全面施行を受けた外来種対策、景観法の施行を受けた景観形成の取り組みをさらに充実・強化する。

2. 事業計画

全国28箇所の国立公園等で、以下の予算額をもって事業を実施してきたところ

平成13年度	1.9億円
平成14年度	5.2億円
平成15年度	1.5億円
平成16年度	3.0億円
平成17年度	2.8億円

3. 施策の効果

上記事業により、国立公園の管理のグレードアップを図るとともに、観光立国・良好な景観形成の実現や地球温暖化防止に貢献。また、環境分野での新たな雇用の確保や地域の活性化にも寄与。

事業費100百万円あたり、概ね4,000人日の雇用見込み。

国立公園等民間活用特定自然環境保全活動(グリーンワーカー)事業費

国立公園等の保安全管理上の諸問題

高山植物の盗採や高山蝶等の密猟
外来動植物の侵入による自然生態系への影響の懸念
山岳地や湖沼・海岸等での投棄物・漂着物の処理に苦慮
利用集中期のお花畑等への踏み込み
集中山岳地の登山道が荒廃
人為による裸地化や里地里山・人工林の放置による生物多様性の喪失
野生動植物の生息・生育地への違法な車両の乗り入れ

等

スノーモービル等乗り入れ禁止区域での指導



国立公園等の保安全管理の充実

監視活動の充実
外来種の除去・捕獲
投棄物・漂着物回収
パトロールや制札による立入り制限
登山道の伝統的工法によるきめ細かな維持管理の実施
植生復元、里山の間伐促進
監視活動

等

自然や社会状況を熟知した地元住民等を雇用し事業を実施

アウトプット

世界に誇れる国立公園づくり

山頂での埋設ゴミの回収

